

Q：地域の博物館に見学に行くことになりました。事前にどのような指導が必要でしょうか。博物館を見学する上での留意点について教えてください。また、効果的な見学の仕方についても教えてください。

A：博物館の展示物についての説明は、児童向けのものは少なく、一般向けのものがほとんどで、いざ見学すると、児童にとって難しい内容のものが多くあります。事前に下見をしたり、学芸員などの協力を得たりして、子どもにとってわかりやすいものとなるよう配慮が必要です。

<事前準備及び指導>

○学芸員と教員で事前に打合せを行う。

学習のねらいや内容について事前に説明し、今回の見学の目的にあった内容の見学になるよう学芸員と十分な打合せを行うようにしましょう。

当日は、学芸員の説明を入れたり、学芸員と教師でティームティーチング方式を取り入れたりと効果的です。

<博物館見学の留意点：教師>

○展示資料など、ガラスケースに入れられておらず、破損する可能性があるものがあります。展示室には、筆記用具だけを持ち込み、それ以外のカバンや傘など見学に必要なものは持ち込まないようにしましょう。そのためには事前に施設と連絡をとり、荷物を預かってもらうことの依頼や荷物の置き場所など決めておくとい良いでしょう。

○基本的な見学のマナーとして、展示物や展示ケースなどには許可なく触ったり、写真をとったりさせないようにしましょう。ただ、中には触ってもよいもの、写真を撮ってもよいものがあります。これについても、教師が事前に打合せに行き、見学場所を確認し、担当者との打合せの中で確認してください。

<博物館の見学の仕方：児童>

○何を調べるために（何を解決するために）見学に行くのか、目的を明確にする。

○展示物の絵を描いたり、使い方や特徴をメモしたりする。

○わからないことは学芸員に質問する。

○体験できるものは、実際にさわったり、動かしたりしてみる。

○一般の人の利用もあるため、きまりを守り、他の人に迷惑をかけない。

※実際の記録は、ワークシートや絵カードなどにまとめると後で整理しやすくなります。

絵カードにまとめる例 「むかしの道具しらべ」

①道具をよく観察しながら絵をかく。

②気づいたことを書き込む

（道具の名前、使われていた時期、道具を体験した感想、不思議に思ったこと）

道具が使われていた時期は3つに分けて記入させる。

- ・祖父祖母が生まれ育った頃 約50～70年前
- ・父母が生まれ育った頃 約30～40年前
- ・児童が生まれ育った頃 約10～現在

<見学場所へ行くまでのコースの安全、施設内の見学時の安全>

- ・交通安全監視のボランティアの依頼（保護者及び地域）
- ・安全ルールの確認
- ・グループ行動での役割分担